

2015年 試験時の試作型を改良!
 更に納豆菌を濃くし、多種ミネラルを混和!

10種の納豆菌とミネラル入土壤改良肥料

納豆菌X^{テン}[®]

ネギの連作障害改善に!!

充てん時
40ℓ

10a当り400ℓ(10袋)の全面混和で

畑をよみがえらせ強くする!

- 10種の納豆菌とミネラルがネギの **根張り** を強力にサポート!
- 土壌中の有機物を分解し、**微生物を多様に!**
- 熱にも強い菌を採用! **太陽熱消毒に耐えどんどん増える!**

使用 ポイント

前作の残さや緑肥をすき込む前、または堆肥施用時に、納豆菌X10袋を全面散布しておく、有機物の分解や納豆菌の増殖が促進され、より土壤改良効果が期待できます! その場合、混和後、一定期間を空けてから、播種や植え付けを行ってください。

【使用上の注意】

- ・土壤微生物を死滅させる殺菌剤との混用は避け、必ずガス抜き後に施用してください。
- ・未熟な有機物が土壌に残っている場合に使用すると、発酵が促進されるため、施用後は一定期間空けてから、播種や植え付けを行ってください。

*バシラス属菌のことを便宜上「納豆菌」と呼んでいます。*効果事例・使用者の声は一部事例であり、効果を保証するものではありません。

お問い合わせの方はこちらまで

原料	牛ふん、馬ふん、おが粉、わら類、麦飯石入り農業塩、納豆菌の力			
成分	窒素全量	1.3%	加里全量	2.0%
	りん酸全量	2.1%	炭素窒素比	16



写真: 納豆菌X(試作型)を使用したネギの根張りの様子(深谷市大谷)

2015年の試験時よりパワーアップ!

微生物
土壤
改良材

そのネギに、

納豆菌X^{テン}[®]

株式会社アグリソイル・ソリューション

TEL.048-583-2017 FAX.048-583-6080

1. 栽培方法・施与方法

2015年5月14日・15日定植 (品種:「夏扇3号」と「葵の剣」を交互に定植)
2015年4月26日「納豆菌X」(試作型)を試験区に施与。
圃場面積は約10aである。

2. 肥料、農薬等

農薬肥料等は一般的なものであり、試験区、対照区は同条件となっている。
2015年4月30日に有機質豚糞堆肥を3トン施与した。

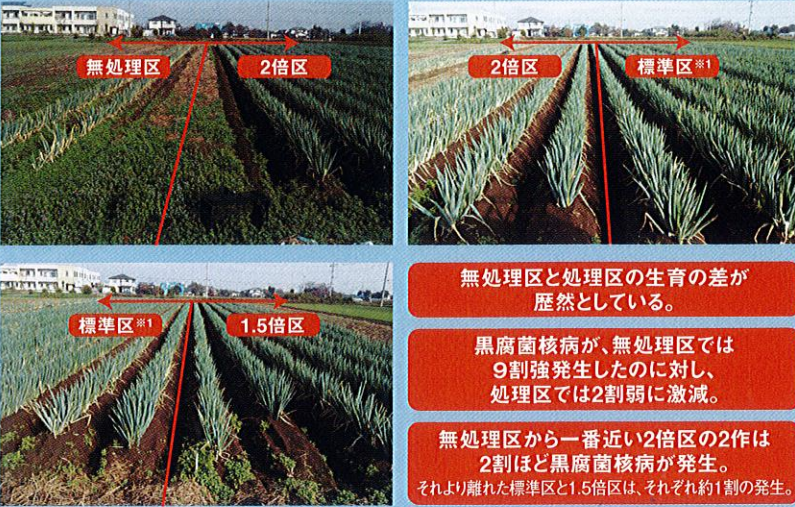
3. 前年の様子

ネギ作付:2014年6月中旬定植
品種:「夏扇3号」、「龍まさり」
黒腐菌核病で全滅し、収穫を諦めた。

テスト前の圃場 撮影日:2015年3月28日



テスト後の圃場 撮影日:2015年11月18日



無処理区と処理区の生育の差が歴然としている。
黒腐菌核病が、無処理区では9割強発生したのに対し、処理区では2割弱に激減。
無処理区から一番近い2倍区の2作は2割ほど黒腐菌核病が発生。それより離れた標準区と1.5倍区は、それぞれ約1割の発生。

状況:黒腐菌核病により、龍まさり、夏扇3号は壊滅状態、収穫を諦めそのまま枯れている。黒腐菌核病の菌は畑全体に蔓延していると考えられる。

連作障害に効果発揮



深谷市 馬場さん

ネギの連作畑で、納豆菌X(試作型)を使用したところは、使用しなかったところと比べ、明らかに黒腐菌核病等の病害が少なく、根張りや生育も良かった。また、L以上のネギの割合も5割以上増えた。しかし、完全に病害が無くなった訳ではないため、引き続き使って畑を改善していきたい。

【埼玉県深谷市折之口・白ネギ】2015年11月30日1m幅収量調査「納豆菌X」(試作型)試験結果

区画	無処理区	標準区※1	1.5倍区	2倍区
葵の剣				
収穫本数	29本	37本	32本	29本
平均長	53cm	85cm	88cm	91cm
平均重	93g	167g	266g	265g
黒腐菌核本数	28本	5本	4本	6本
発病率	96.6%	13.5%	12.5%	20.7%

2015年11月30日 収穫結果

品種	区	1m収穫平均重量	10% ⁻ 平均3万株	10% ⁻ 収穫量比較	黒腐菌核発病本数	黒腐菌核発病率	太さ				
							2L以上	L	M	S以下	L以上率
葵の剣	無処理区	93g	2,790kg	100%	28本	96.6%	2本	0本	13本	14本	6.9%
	標準区※1	167g	5,010kg	180%	6本	16.2%	10本	12本	9本	6本	59.5%
	1.5倍区	266g	7,980kg	286%	4本	12.5%	9本	12本	4本	7本	65.6%
	2倍区	265g	7,950kg	285%	6本	20.7%	11本	10本	8本	0本	72.4%

収量アップ

10%⁻あたり収量が大幅に増えている!

黒腐菌核の発病率が1/7~1/5に激減!

L以上の収穫率が8倍以上増!

※1 「納豆菌X」(試作型)を10%⁻あたり10袋(40L×10袋)施与した区が標準区。

1. 栽培方法・施与方法

2015年6月16日定植 (品種:「龍まさり」)
2015年6月7日「納豆菌X」(試作型)を試験区に施与。
圃場面積は約20aである。

2. 肥料、農薬等

農薬肥料等は一般的なものであり、試験区、対照区は同条件となっている。

3. 前年の様子

前年に冬ネギを栽培しており、作付け前に牛ふん堆肥が散布されている。

テスト後の圃場 撮影日:2015年9月16日



上2本は無処理区 下2本は処理区

処理区の方が、長さが5~15cm大きく、太さが3~6mm太く、根も少し多い。

無処理区は軟腐病が約5%ほど散見されるが、処理区は軟腐病がほとんどない。

白絹病は、いずれの区も約5~10%発生。

【群馬県藤岡市・白ネギ】2015年11月30日1m幅収量調査「納豆菌X」(試作型)試験結果

区画	無処理区・排水悪	処理区※2・排水悪
龍まさり		
収穫本数	32本	40本
平均長	80cm	88cm
平均重	156g	242g
黒腐菌核本数	12本	0本

2015年11月30日 収穫結果

品種	排水性	区	1m収穫平均重量	10% ⁻ 平均3万株	10% ⁻ 収穫量比較	黒腐菌核発病本数	黒腐菌核発病率	太さ				
								2L以上	L	M	S以下	L以上率
龍まさり	悪	無処理区	156g	4,680kg	100%	12本	37.5%	6本	5本	13本	8本	34.4%
		処理区※2	242g	7,260kg	155%	0本	0.0%	9本	9本	17本	5本	45.0%

10%⁻あたり収量が大幅に増えている!

黒腐菌核の発病率が大幅に減っている!

L以上の収穫率が10%以上増えている!

品種	排水性	区	1m収穫平均重量	10% ⁻ 平均3万株	10% ⁻ 収穫量比較	黒腐菌核発病本数	黒腐菌核発病率	太さ				
								2L以上	L	M	S以下	L以上率
龍まさり	良	無処理区	172g	5,160kg	100%	0本	0.0%	5本	7本	8本	9本	41.4%
		処理区※2	250g	7,500kg	145%	0本	0.0%	9本	12本	12本	3本	58.3%

※2 ※1の標準散布量を散布処理した。